

信州大学教育学部附属長野中学校

2025年度(令和7年度)教育課程特例校の取組について

＜新設教科＞あさひのラーニング（学際的な学習の時間）

1 あさひのラーニング（学際的な学習の時間）の目標

各教科の枠組みだけでは解決できない、現代社会の諸問題やSDGsにかかわる諸問題などの学際的な諸問題をテーマに設定し、各教科の見方・考え方を働かせて、探究的な学習を行うことで、実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学びを行う。また、そのために必要な知識や技能を身に付ける学習も行う。

2 あさひのラーニング（学際的な学習の時間）の概要

本校では、教科学習を土台としながら、社会とのつながりを意識して、連続的・発展的に学びを深め、自立した学習者の育成を図るために、既存の教科・領域に、新たに「キャリア×STEAM」領域を加えた教育課程の編成を考えた。ここでは、生徒と実社会をつなぐ教科横断的・学際的な学びである「あさひのラーニング」と、デザイン思考に基づく社会参画型の「あさひのプロジェクト」の二つのタイプの学びを構成し、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学びを構想した。「あさひのプロジェクト」については、総合的な学習の時間で運用していくこととし、教科学習と「あさひのプロジェクト」をつなぐ学びとして、全学年において「あさひのラーニング」を新設する。

3 あさひのラーニング（学際的な学習の時間）の新設理由

本校の生徒は、将来の夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒が多い。一方、通学区域が広範囲にわたることもあり地域との関わりが希薄であることが課題である。この実態から、本校生徒には、「キャリア×STEAM」領域を位置付け、地域や実社会と関わる中で解決すべき問題を見だし、主体的・協働的に解決していく中で資質・能力を育むとともに、社会の一員としての自覚や将来への見通しをもてるようになる、教科の枠を越えた学習であると考えた。

4 指導計画

(1) 指導の方向

現代社会の諸問題やSDGsにかかわる諸問題などの学際的な諸問題をテーマに設定し、各教科の見方・考え方を働かせて、探究的な学習を行うことで、教科の枠を越えた視点から、追究、解決を図り、削減する各教科の指導内容と総合的な学習の時間の指導内容を補完する。

(2) 授業時数

教科	1 学年	2 学年	3 学年
国 語	132 (-8)	132 (-8)	100 (-5)
社 会	100 (-5)	100 (-5)	132 (-8)
数 学	132 (-8)	100 (-5)	132 (-8)
理 科	100 (-5)	132 (-8)	132 (-8)
音 楽	44 (-1)	34 (-1)	34 (-1)
美 術	44 (-1)	34 (-1)	34 (-1)
保健体育	100 (-5)	100 (-5)	100 (-5)
技術・家庭	66 (-4)	66 (-4)	34 (-1)
外 国 語	132 (-8)	132 (-8)	132 (-8)
特別な教科 道徳	35 (0)	35 (0)	35 (0)
あさひのプロジェクト (総合的な学習の時間)	50 (0)	60 (-10)	60 (-10)
特別活動	35 (0)	35 (0)	35 (0)
あさひのラーニング (学際的な学習の時間)	45	55	55

(3) 学習内容

① 講座学習（探究レベル1、2）

…探究的な学びに必要な資質・能力についての理解を深め、身に付ける学習

※講師による講演会や、職員による講座、生徒同士の座談会などの形態で、定期的に行う。

A「講演会」

・年5回 とし、専門家 から探究や生き方について学ぶ

講演会のテーマ例

【探究】 ・探究的な学び（全国・世界で活躍されている方）

【キャリア】 ・ビジネスマナー（中小企業家同友会） ・社会貢献活動（ライオンズクラブ）

【STEAM】 ・STEAM 教育（PLIJ プラットフォーム、信州大学）

B「講座学習」

【1学年】「探究の『問い』を見いだそう」（6～7月）

・教材『課題研究のメソッド』を用いて、研究テーマの見つけ方や問い（リサーチクエスト）の立て方などの課題研究の土台部分を学ぶ。

【2学年】「『デザイン思考』を学ぼう」（4～5月）※CURIO SCHOOL のプログラム（15万円程度）

・「課題解決プログラム」体験を通して、デザイン思考のステップ（共感・理解、問題定義、発想・創造、試行、検証）について、理解を深めるとともに、「問題の把握と特定方法」や「つくって試しながら考える」といった、探究学習に必要な基本姿勢を学ぶ。

【3学年】「AI と人類の共存」

（前期）「AI を使って身近な課題解決のアイデアを提案しよう」

・AI の画像認識と音声認識について体験を通して学び、身近な諸問題について、問題の原因を調査し、AI を活用した解決方法を提案する活動を通して、文献調査やポスター発表の仕方を学ぶ。

（後期）「自律型致死兵器の開発について考えよう」

・自律型致死兵器を開発することが倫理的に正当かどうか考えることを通して、文献調査、言葉の定義付け、分類の基準作りなど未知の課題を探究する方法について学ぶ。

【全学年】ビジネスマナーを学ぼう（4～6月） ※（3年生は5月までに実施）

・ビジネスマナー（挨拶、所作、名刺交換、電話・メール対応など）、プレゼンスキル（資料作成、話し方など）、コミュニケーションスキル（聴き方、質問の仕方など）など、社会に出たときに必要となるスキルを身に付ける。

② テーマ学習（探究レベル2、3）

…1つのテーマを解決するために、教科の枠にとらわれずに追究する学習

【1学年】「私の啓発録」

<概要>

「自己の生き方」をテーマに、これまでの自分を振り返り自分を取り巻く人や環境の存在に気付くとともに、橋本左内の「啓発録」を教材として、これから大切にしたい生き方について考える。

<つきたい力>

・自分を知る力

<単元の流れ>

- ・これまでの自分を振り返り「自分史マップ」にまとめる。
- ・橋本左内の啓発録から、自分の大切にしたい生き方（テーマ）について考える。
- ・テーマに対する問い（リサーチクエスト）を立てる。
- ・学級内、学年内で情報交換・発表会をする（フィードバックをもらう）。
- ・問いを見直し、社会体験学習の見通しを立てる。

③ ミッション型探究学習（探究レベル3～）

…学校や企業からのミッションに対する、課題解決型学習（PBL 学習）

【2学年】「あったらいいな、こんなもの」

・「発明品」をテーマに、デザイン思考を活用して、身近にあるニーズから校内で解決すべき問題を発見し、それを解決するアイデア（発明品）を発想・創造する。

【3学年】「ラーメントoppingを開発しよう（仮）」

・アスザックフーズ（株）の「新しい乾燥食品のアイデアが欲しい」というミッションに対して、各教科の見方・考え方を働かせて、教科横断型の課題解決型学習を行う。

(4) 評価計画

育てようとする資質・能力及び態度に基づいて、単元ごとに評価規準を決めだし、ワークシートや生徒の追究の姿、レポート等の成果物から評価していく。

5 研究内容

(1) 研究の重点

- 全体計画をもとに、教科学習と「あさひのプロジェクト」をつなぐ学びという視点で、単元配列や展開について、さらに研究をしていく。
- 単元ごとに決め出された評価規準及び単元展開が適切なものであったか、単元評価を位置付け、各学年の実情に適した学習評価や単元展開がなされているのか確かめていく。

(2) 研究授業の計画・運営

- 成果発表会、公開研究会

6 運営

(1) あさひのラーニング（学際的な学習の時間）の計画・運営

- ・あさひのラーニング（学際的な学習の時間）の係、あさひのプロジェクトの係および研究部が中心となって計画立案し、教科会・学年会で共通理解と協力体制を確立していく。
- ・異学年との連携・交流を踏まえ、授業時間はヒューマン・ウィークを含めて、通年、全校一斉に実施する。ただし、学習展開や時間の割り振りは、係や研究部で計画をする。

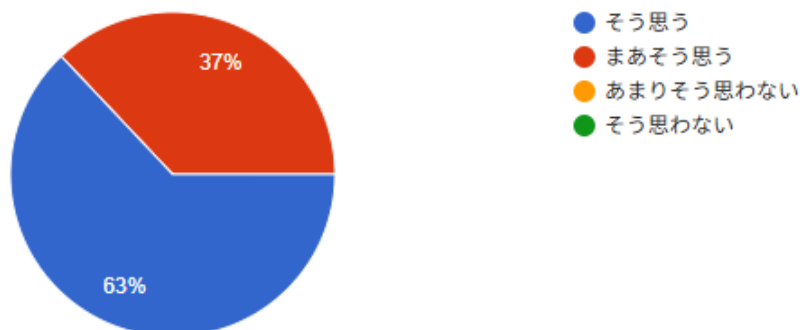
(2) 生徒の活動の記録、まとめ資料（レポート）、評価事例の累積

- ・デジタル化したり、記録に残したりして、カリキュラムの評価や次年度のオリエンテーションに活用する。

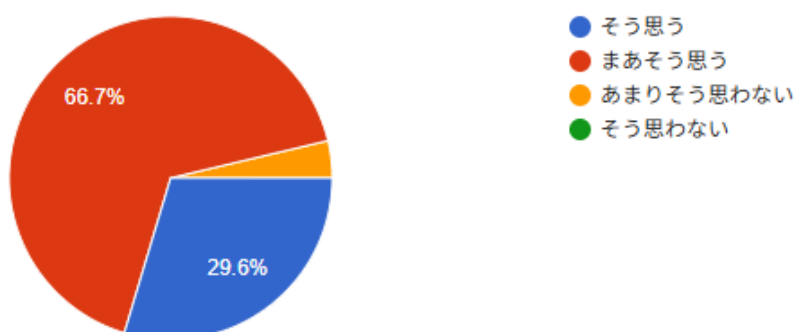
7 評価

(1) 教員評価

- ① あさひのラーニングの研究実践は、日々の授業改善と自身の力量向上につながる教育研究になっていますか。(27 件の回答)



- ② あさひのラーニングの授業において、「探究的な学び」を具現できるように工夫していますか。(27 件の回答)



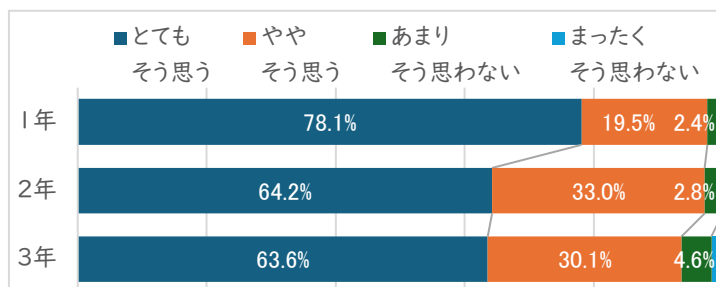
③ あさひのラーニングの活動についての要望（※任意）（11件の回答一部抜粋）

- ・内容を検討していく必要がある。今年度は、2，3年生が昨年度と同じ内容を行っていたが、同じでよいのか疑問に思った。
- ・教科とあさひのラーニングをつなぐことはできたが、ラーニングとプロジェクトをつなぐこと（見取り）に難しさを感じた。
- ・伴走より指導してしまう場面も何度かあった。外部とのつながりや授業準備はもちろんだが、活動中のかかわり方について考えたい。
- ・あさひのラーニングの学習指導案について考えたい。そのためにもねらいを明確にしたい。
- ・あさひのラーニングは、私自身も他教科とのつながりを感じ、他教科の先生と相談することができ、新鮮で楽しかった。
- ・多くの生徒がラーニングやプロジェクトの時間を楽しみにしている姿や、普段の授業では見られない一面を見ることができてよかった。
- ・「あったらいいな、こんなもの」をやったことで、デザイン思考について生徒が理解し、それを各教科で実感、応用している場面が見られた。
- ・1学年で、問いやりサーチクエスチョンなどの学習を、「まずやってみる」という活動ベースで行えたことは、進級後にも確実に生きてくる経験値となった。
- ・各自のシーズを生かせる講座を選択できるようにしたため、生徒自身の潜在能力や得意が光る場面が、ラーニングで見られ大変よかった。

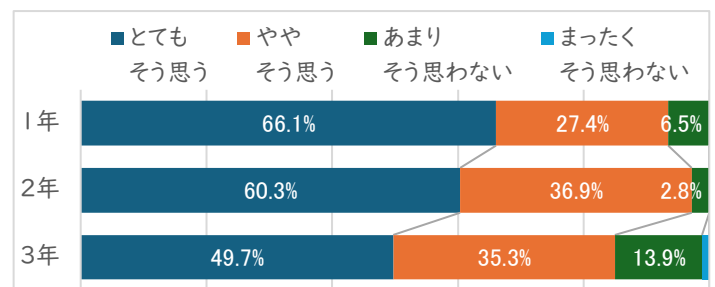
(2) 生徒評価

①信州大学教育学部 北澤嘉孝 特任教授が実施したアンケート調査（令和7年12月実施 対象：本校全生徒）より
【全般】

この学習は楽しかった

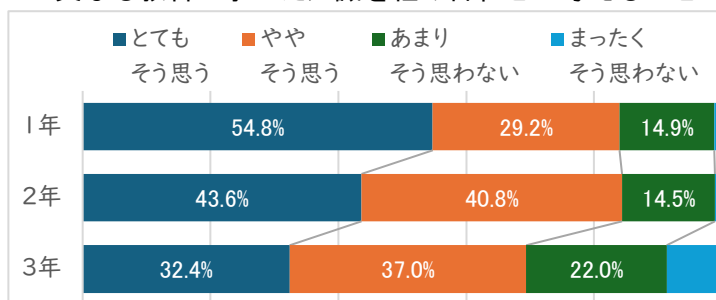


充実した学習になった

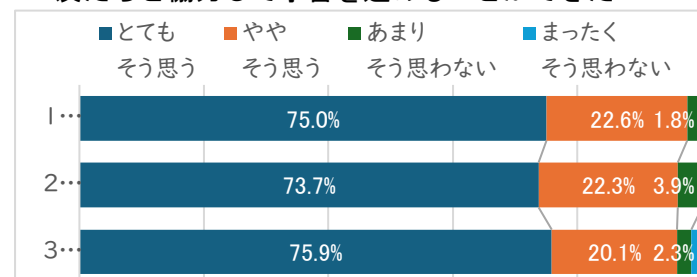


【教科横断】

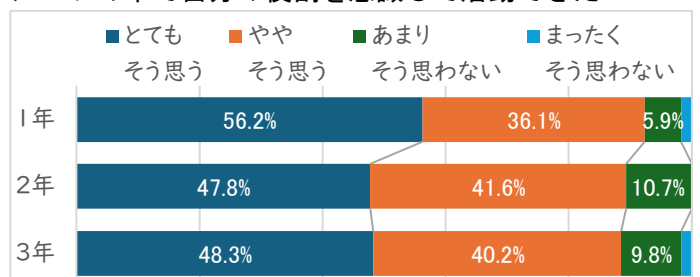
異なる教科で学んだ知識を組み合わせることで考えることができた



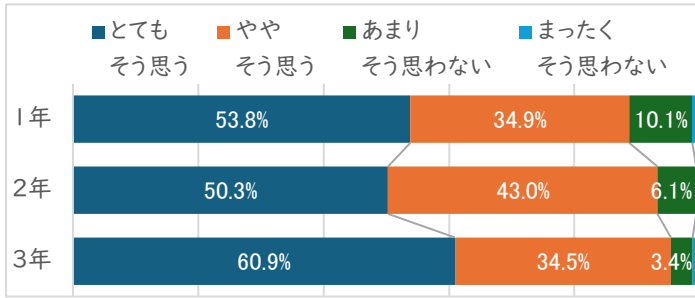
キャリア教育 基礎的・汎用的能力の観点
友だちと協力して学習を進めることができた



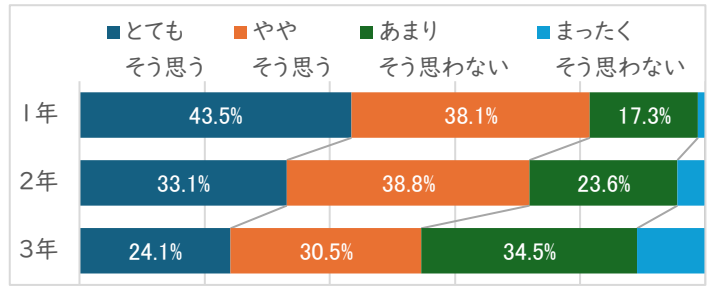
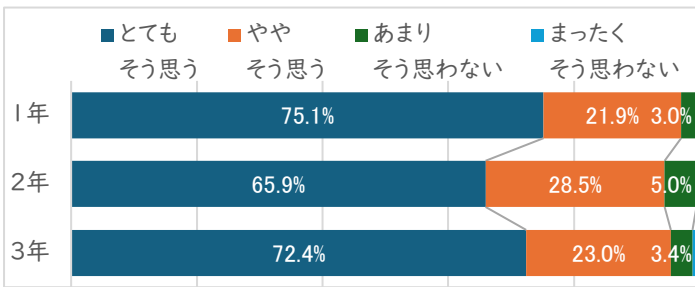
【人間関係形成・社会形成能力】高まり
グループの中で自分の役割を意識して活動できた



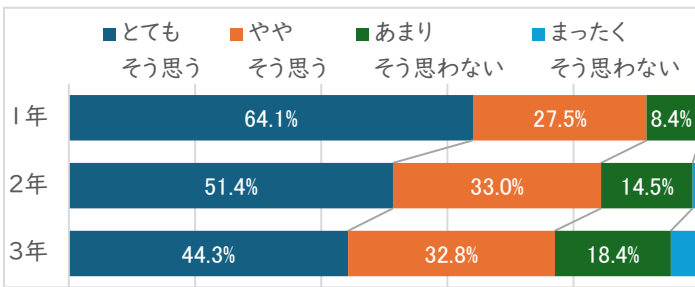
他人の意見を聞いて、自分の考えを見直すことができた



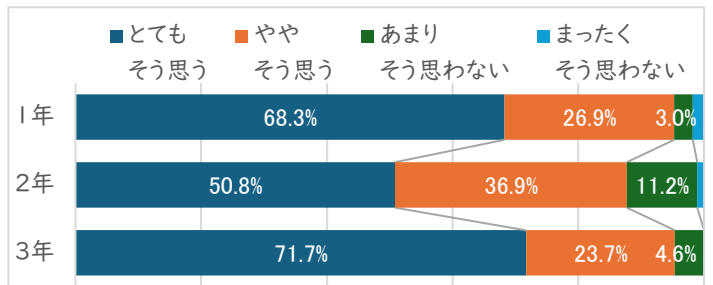
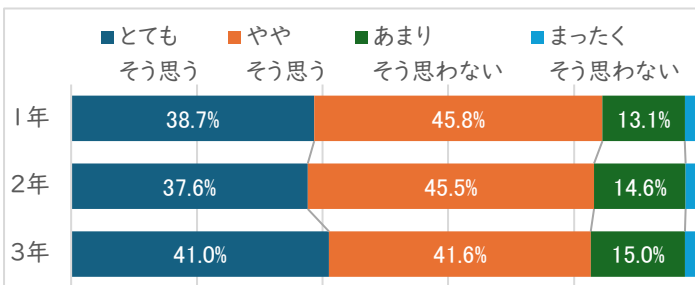
キャリア教育 基礎的・汎用的能力の観点 【自己理解・自己管理能力】の高まり
最後まであきらめずに取り組むことができた 自分の得意なことや好きなことがわかってきた



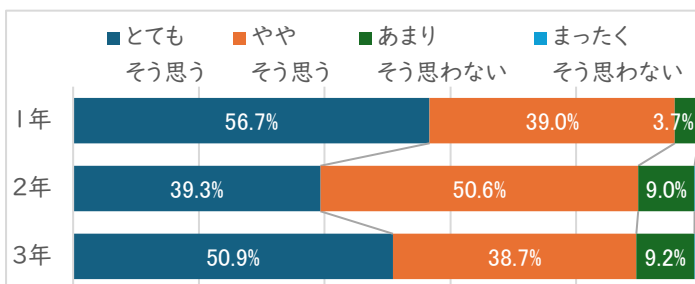
次にやるときはもっと工夫してやりたい



キャリア教育 基礎的・汎用的能力の観点 【課題対応能力】の高まり
追究の見通しを立てて進めることができた わからないことを調べたり、他の人に聞いたりして解決しようとした



情報を整理して、自分なりにまとめることができた



② 学校評価アンケートにおけるあさひのラーニングの活動についての意見・要望（※任意）

【1学年】

- ・あさひのラーニング、あさひのプロジェクトの両方があることで、自分で問いを立て、自ら解決策を見つけて実践するということが得意になった。また、学年で活動することで、色々な学友と協力することができた。
- ・社会を生きていくうえで必要だと思うので続けてほしい。
- ・あさひのラーニングでは他クラスの人とも交流ができて楽しかった。
- ・どのようなことをするのか、詳しくなかったためよく分からなかった。もう少し詳しくしてほしいと思う。（どのような人が向いている、このような活動を考えているのか等）
- ・自分の興味があることを知ることができた。
- ・活動の幅をもっと広げてほしい。

【2学年】

- ・とても楽しかった。製作時間をもう少し増やしてほしい。
- ・デザイン思考の講演は聞いていて毎回面白いと思うので、続けて欲しいと思います。
- ・何度も試行錯誤を続けてよりよいものにすることができた。
- ・座談会のような形で他クラスと紹介し合っ て意見を共有できたのがよかった。
- ・友と協力して作ることが楽しく、実生活で使ってみて便利さを感じた。
- ・自分が興味のあることをできているから楽しいし、様々な社会の問題について触れることができるとよかった。
- ・身近なところから社会へという流れがあると、順を追って社会へ参画することができてよい。
- ・やることややる場所を先生が決めており、生徒主体の探究活動とは言えないと思った。
- ・あさひのラーニングでは、先生がテーマを決めるのではなく、生徒に決めさせてほしい。
- ・個人単位でやってみたかった。

【3学年】

- ・他の学校ではなかなかできないような交流の仕方や、学校をより良くするための活動ができていて、毎回とてもおもしろい。活動を通して、自分の強みだけでなく、周りの友達の強みや良いところにも気づくことができ、有意義な時間になっている。
- ・生徒が提案したことを基に活動が進んでいくため、主体的に取り組むことができたと感じる。実際に企業の人と対面で活動することもしてみたいと思った。
- ・他学級との交流を多くしていきたい。
- ・自分のやりたいことを深掘りできて楽しかった。プランニング力が高まった。
- ・あさひのラーニングやあさひのプロジェクトで、人との関わり方やいろいろな自分のシーズを見つけることができた。
- ・9教科とは違う学びがあっていいと思う。違う学びというのは人によって違うし、その違いを尊重できるようにとかも含めて成長できる場所があるからそう思った。
- ・自分の将来や今について考える機会がそんなになかったので、この3年間で自分のこれからについて考えることができたので良かった。
- ・もっと自由に自分のやりたいことをできるようにしてほしい。
- ・あさひのラーニングはあさひのプロジェクトに比べて何を目的にやっているのか、どんな力が高められるのかがわからない。
- ・何を目標としているのかが分からず、授業の意味をあまり感じなかった。
- ・教科の視点とのつながりをもつことは難しかった。あさひのプロジェクトとのつながりは感じた。
- ・あさひのプロジェクトの時間を増やしてほしい。

(3) 保護者評価

あさひのラーニングの活動についての意見・要望（※任意）(58件の回答 一部抜粋)

- ・生徒の「やりたい」を形にする活動は、将来にとっても役に立っていくことと感じる。
- ・「問いを立てる」ということに優れた生徒が育っていると感じる。その問いを解決するために、教科学習と結びつけて考えられている姿に、成長を感じている。
- ・個々の探究に繋がりそうな取り組みであり、学ぶことの本質に触れる良い機会だと思う。
- ・生徒が自主的に活動するよい機会になっている。自主的に調べたり、協力して活動したりしている姿が素晴らしかった。
- ・短期間だけではなく、継続的に取り組まれているので、子どもも自分の成長に気づいたり、将来

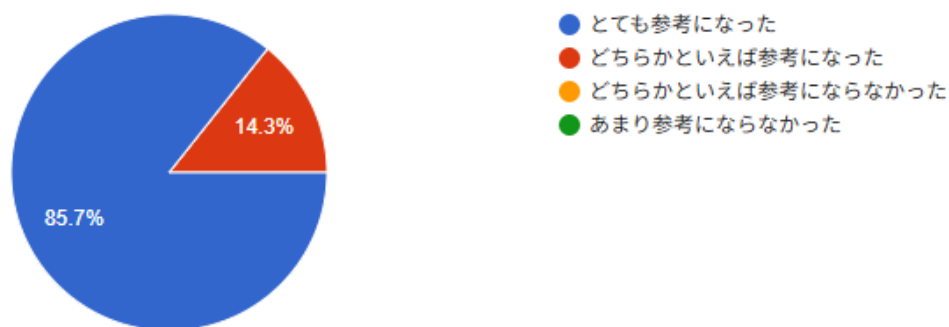
の見通しを持ったりできていると感じる。新鮮な学びとなっているので、今後も継続的な活動として行っていただけるとありがたい。

- ・大学キャンパスの校舎内で講義を受けるのが新鮮で楽しかったようだ。高等教育の場で具体的な心象を持つことは、全ての生徒にとって有意義であると思う。
- ・教科学習と違った学びがありよいと感じる。時代に合った学びになっている。
- ・ひとつの科目にとらわれず、考え試すのは視野が広がり楽しそうだ。
- ・あさひのラーニングの様子を参観し、生徒が生き生きと活動している姿がとても印象的だった。
- ・自ら考えることができ、自ら判断することができ、自らアウトプットすることができる場があったてよい。苦にならない子にはとてもよい学習の機会だと思う。
- ・苦手な子に対して、先生方がどのように関わっているか、後押しをしてくれているか、どのように指導をしてくれているかという点が気になる。寄り添って指導してほしい。
- ・あさひのラーニングやプロジェクトでの活動と、日々の教科学習との間の繋がりを個々で発見していけたら、より学びが深まると感じている。
- ・あさひのラーニングとあさひのプロジェクトの差異が分かりづらい。
- ・楽しくやっている生徒、そうでない生徒の差が大きい。もっと噛み砕いた説明で、誰もが分かるような活動に期待する。

(4) 外部評価

令和7年11月1日（土）ワークショップ参加者アンケートから（回答32件）

① 新設教科あさひのラーニングの授業公開にかかわって



② 自由記述（抜粋）

- ・中学校3年間を見通した学習構想、教育課程（カリキュラム）の構想が大切であると思った。
- ・教科横断型のカリキュラム設計について学びになった。
- ・全体研究と教科やあさひのラーニング、プロジェクトとの関連を機会があれば学びたい。
- ・STEAM教育の視点がしっかりと実践されており、教科の中で探究的な学びを追究する姿勢がとても良いと感じた。また、各教科の「見方・考え方」を意識した授業づくりがなされていて、それが総合的な学習へとつながっている点が、貴校の研究の大きな強みだと思った。
- ・あさひのラーニングの学習がどのように学力に繋がっているのかを教えていただきたい。
- ・もっと教科が双方向になり、子どもたちのダイナミックな活動にしていくためには、入り口を広げる（「附中を語る」にとどめない）、教師が教科の学びとしてとらえる範囲を広げて子どもの学びを狭めないようにしていくことが大切なのではないか。
- ・あさひのラーニングでは、どの学年のテーマもおもしろく、また、各教科の繋げ方がうまくマッチしていて勉強になりました。テーマをどう設定していったのかが気になりました。
- ・あさひのラーニングが設定された理由、位置づけ、そして学習の内容、総合的な学習の時間の課題を解決し生徒の学びを深める要素が詰まっており、大変参考になった。様々な学校の取組を見ると、総合的な学習の時間の立ち上げ時に、探究の方法を学ぶ学習を実施していたが、教科の学習と総合的な学習の時間をつなぐ時間とはなっていなかった。参観したあさひのラーニングの時間の振り返り時に、教科と総合のつながりを意識するような項目もあり、大変興味深かった。
- ・魅力的な取組であると思うが、教員の負担感を感じた。生徒の学びの深化に加え、教員の負担減につながっていくことを示していけるとよいと思った。